

## 産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 高岡 宏和

- I 開催年月日 令和 6 年 3 月 21 日（木）
- II 会議時間 午前 10 時 00 分～午後零時 18 分
- III 出席委員等
- 〔出席委員〕◎高岡 宏和      ○田中 勝文      熊木 義城  
                                横田 誠二      山口 泰祐      酒井 善広  
                                上田 武      水口 清志  
                                (◎…委員長      ○…副委員長)
- 〔議長〕 本田 利麻
- 〔副議長〕 ※横田 誠二 副議長は委員として出席
- 〔説明員〕 別紙名簿のとおり  
                                (西條 都市創造部次長・産業振興部参事が公務のため  
                                欠席)
- 〔委員外議員〕 山上 尊士
- 〔事務局職員〕 笹島 永吉      高嶋 史恵      吉本 昌史
- 〔傍聴者〕 なし

### IV 審査の概要

#### 1 付託議案について

- 議案第 1 号 令和 6 年度高岡市一般会計予算のうち本委員会所管分
- 議案第 4 号 令和 6 年度高岡市駐車場事業会計予算
- 議案第 8 号 令和 6 年度高岡市水道事業会計予算
- 議案第 9 号 令和 6 年度高岡市工業用水道事業会計予算
- 議案第 10 号 令和 6 年度高岡市下水道事業会計予算
- 議案第 17 号 高岡市手数料条例の一部を改正する条例
- 議案第 24 号 高岡市 S O H O 事業者支援オフィス条例の一部を改正する条例  
附則「高岡市附属機関に関する条例の一部改正」
- 議案第 25 号 高岡市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 26 号 高岡市都市公園条例の一部を改正する条例
- 議案第 30 号 高岡市水道事業給水条例及び高岡市水道の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 36 号 工事請負契約の変更について（下伏間江福田線土留その 3 工事）

- 議案第 37 号 工事請負契約の変更について（下伏間江福田線土留その 4 工事）
  - 議案第 39 号 市道路線の認定及び廃止について
  - 議案第 41 号 令和 5 年度高岡市一般会計補正予算（第 9 号）のうち本委員会所管分
  - 議案第 43 号 令和 5 年度高岡市駐車場事業会計補正予算（第 3 号）
  - 議案第 47 号 令和 5 年度高岡市水道事業会計補正予算（第 4 号）
  - 議案第 48 号 令和 5 年度高岡市下水道事業会計補正予算（第 4 号）
  - 報告第 1 号 専決処分の報告について  
（令和 5 年度高岡市一般会計補正予算（第 6 号））
  - 報告第 2 号 専決処分の報告について  
（令和 5 年度高岡市一般会計補正予算（第 7 号）のうち本委員会所管分）  
（令和 5 年度高岡市水道事業会計補正予算（第 3 号））  
（令和 5 年度高岡市下水道事業会計補正予算（第 3 号））
- 及び
- 報告第 3 号 専決処分の報告について  
（令和 5 年度高岡市一般会計補正予算（第 8 号）のうち本委員会所管分）

以上、当初予算議案 5 件、条例議案 5 件、その他議案 3 件、追加提出された補正予算議案 4 件及び報告 3 件の計 20 件については、審査の結果、全会一致で、いずれも原案のとおり可決・承認すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【議案第 1 号のうち、U I J ターンによる人材確保推進事業費について】

- コロナ禍を経験し、大都市圏で働く人々の間では地方への移住を伴う U I J ターンへの関心が非常に高まっている中で、令和 5 年度よりも減額となっている理由は、
- △ 本事業は、商業雇用課と企画課、商工会議所で予算を執行している。商工会議所で実施していた市内企業を見学するバスツアーや、東京など首都圏での U I J ターンに向けたイベントへの参加を見直し、今後は市内企業の意向調査等に替えていきたいと考え、減額措置となった。
- 若年者の地方への定着あるいは移住のためには、良質な雇用機会があることが非常に重要だと思うことから、地域雇用対策について今後真剣に取り組んでいただきたい。（要望）

【議案第 1 号のうち、農業費について】

- 先日、田の液状化についての報道を見た。能登半島地震の影響で、田の中心部が液状化して水が抜けてしまう状態となっており、今後作付けができるのか不明との内容であった。本件についての本市の状況は把握しているのか。また、令和 6 年度予算において対応は可能なのか。

△ 田の液状化について具体的な箇所数は把握できていない。ただし、被害の大きい国吉地区や百橋地区においては畦畔の損壊を確認できており、液状化についても相当数の被害があると思われる。今後、通水することで箇所数が明らかになっていくと思う。市単独の農業土木事業費を5年度よりも2,217万円増額しており、今後判明した被害については本予算にて対応したい。

○ 畦畔について、もう少し具体的に説明してほしい。

△ 圃場と圃場の境目に設置されている畦畔ブロックが倒れたり破損したりした。

○ 震災直後は積雪の影響などで被害状況がわからなかった場合もあるだろうが、この時期になると農家は田のチェックをしておられ、被害状況についての話も出てくると思われる。通水してみたものの水が抜けて何もできないという話があってから対応するのか、それとも相談が寄せられる前から準備しておくのかで状況が変わってくる。十分に準備をしていただきたい。(要望)

【議案第1号のうち、集落営農活性化促進事業費について】

○ 令和5年度よりも増額となっている理由は。

△ 本事業費は、集落営農が持続的な取組ができるよう若者等の雇用・共同機械の導入を支援するもので、国の補助事業である。事前に要望調査をしたところ、5年度よりも要望が3件多かったことから増額となった。

【議案第1号のうち、セリオタウン推進事業費について】

○ 御旅屋セリオの一部について、業務委託契約に基づき土地開発公社より買い戻すとのことだが、なぜ今、買い戻しを行うのか。

△ 令和元年度に百貨店が撤退し、当時、御旅屋セリオを残すかどうかの議論があったが、中心市街地にとって大変重要な施設であると判断して存続させることとなり、6年度に本市が買い戻すという契約のもとで土地開発公社が先行取得した。この5年間で、セリオタウン構想に基づき、まちづくり会社や市役所の各課が移転したほか、eスポーツ拠点の常設、子育て支援施設の機能の充実、地場産業センターの移転、TASUの新規整備など、公益的機能の整備を継続して進めてきた。今後は脱炭素のショールームも整備される。公益的機能の充実について概ね一定の目途がつき、これらの機能をさらに充実、向上させていくため、予定通り買い戻すものである。

○ 10億3,458万円で買い戻すが、本事業費は5年度から10億5,579万円増額となっている。差額が約2,000万円生じている理由は。

△ 買い戻して本市の名義となったのち、そのフロア分について本市が家賃を支払うことはないが、維持管理費の負担は必要であり、その負担を統一した単価として見直す予定としているため、共益費として約2,000万円の増額となるものである。

○ 御旅屋人マーケットの開催やTASUの整備など、様々な取組をしてきたことは重々承知しているが、どの程度の賑わいを創出できたのかという観点が非常に重要で、年々検証していく必要もあると思う。様々な取組の成果が御旅屋セリオの来館者数に表れているのかを確認したいのだが、年間の来館者数と、1日あたりの来館

者数は。

△ 5年度の来館者数は、2月末時点で23万2,086人であり、1日あたり695人である。

○ 中心市街地活性化基本計画における前年度数値を上回っており、これまでの成果が表れていると理解した。引き続き取り組んでいただきたい。(要望)

【議案第1号のうち、中小企業金融対策費について】

○ 日本銀行がマイナス金利の見直しを行うとしている。震災に伴い、中小企業から例えば借り換えについての相談も増えるのではと思うが、マイナス金利の見直しの本市の産業への影響について、見解は。

△ マイナス金利を見直す動きがあるが、急激な金利上昇とはならないのではと感じている。マイナス金利の時代が長く続いたこともあり、国内はもとより海外でも本件に対する関心は高いと思われるが、金融緩和は劇的には進まないの見込まれ円安が続いている。金利や国全体の経済の動向について注視しつつ、中小企業へ必要に応じて資金面での支援等ができるよう、情報収集していきたい。

○ 金利上昇は長いスパンになるとの予測が示されている。中小企業としては、金利上昇によって借り入れに対する負担が増えるとなれば、借り換えをすることも想定される。前向きな答弁もいただいたが、震災の影響が出ている企業もあるなか、地域経済が落ち込まないように対応してほしい。(要望)

【議案第1号のうち、高岡市観光協会運営費補助金について】

○ 令和5年度から約1,500万円増額となっているが、観光ポータルサイトのリニューアル以外にも、増額の理由はあるのか。

△ 観光ポータルサイトのリニューアルが1,000万円で、観光協会の職員の入れ替わりも含めた賃金見直しが500万円余りである。観光ポータルサイトのリニューアルについては、5年度中から観光交流課、観光協会、商工会議所などが連携してワーキングチームを設けながら検討している。

【議案第1号のうち、福岡地域にぎわい創出事業費について】

○ 地域おこし協力隊員の実績は。

△ 地域おこし協力隊員には都市農村交流コーディネーターとして活動いただいた。五位山地域の牧場が生産する「寿五位高岡牛」の地域ブランド化に尽力していただき、地元の農事組合法人が継承・販売することにより、地域の稼ぐ力の向上に繋がった。また、五位山の農産物を購入しに来られる人の流れを作ったり、SNSを活用し五位山の魅力を発信したほか、地域住民を対象にスマホ講座の開催や、竹の子まつり、五位山秋の収穫祭等の各種イベントへの協力、ウエルカム福岡主催のイベントに積極的に参画された。

○ 地域おこし協力隊員には様々な取組をしていただき、地域の方々も大変良かったという感想を持っておられると思う。考えがあって退任されたのだと思うが、引き続き活動していただきたかった。これまでと異なる形でもよいので、地域おこし

協力隊員の活動があればよい。(要望)

【議案第1号のうち、海外販路開拓支援事業費について】

- これまでビジネス交流を進めてきたフォートウェーン市を含むアメリカ中西部地域等において、本市の商品の新たな販路開拓を継続的に行うことは大変意味のあることだと思う。令和6年度は具体的にどのようなことを実施するのか。
- △ 本事業費のうちフォートウェーン市に関する予算は約1,500万円である。現在、ジェトロ富山を通じて現地調査を行っており、フォートウェーン市の周辺において見本市等を開催しているとの情報を聞いている。その情報をもとに、見本市の出展内容や、現地のバイヤーを通じた交流やテストマーケティングの可能性についても調査を進めているところである。まだまだ情報が足りない部分があるため、情報収集をして6年度早々に本委員会にて報告したいと考えている。
- 本会議の一般質問において、災害復旧を優先するために本事業を先送りすべきとの発言があったが、その発言者から市当局に対しては、何らかの提言等があったのか。
- △ このたびの予算案に関連する具体的な意見は伺っていない。
- 本事業の費用対効果をどのように想定しているのか。
- △ 2年前からクラフトヴァレー事業費という予算を計上して海外販路開拓に取り組んできた。今回から事業名を変更しており、内訳としては、クラフトヴァレー関係について継続して実施するための経費や、新たに募集する地域おこし協力隊員の人件費相当分を含めている。さらに先ほども説明したとおり、フォートウェーン市での販路開拓のために約1,500万円を計上している。
- △ 本市としては、まずは「種まき」をしたいと考えている。銅器や漆器等の伝統産業の国内市場が徐々に縮小しているなか、海外において本市の伝統産業や伝統技法に興味を持ってもらうことで、新たな販路開拓等に繋がればと考えている。例えば5年度のクラフトヴァレー事業においても、製品を手にとって見ていただいた際に、こちらが想定していなかった反応もあった。どの程度の効果が見込まれるのか具体的に申し上げることはできないが、本市の伝統産業の可能性に非常に期待しており、当面、力を入れていきたい。
- なかなか費用対効果の見通しがつかないとのことだが、本市の産業がさらに海外に広がるように努力していただきたい。(要望)
- 海外販路を広げていくことは非常に重要であるが、フォートウェーン市との国際交流を続けていること以外に、アメリカ中西部地域を選んだ理由はあるのか。
- △ 市長がフォートウェーン市を訪問した際に、経済交流を深化させようという協議があった。本市とフォートウェーン市は同程度の規模であるが、より視野を広げるとアメリカ中西部地域は製造業が多い地域であり、本市の産業形態ともマッチングするのではと考えた。
- 伝統産業の販売促進を図るために、業界とどのように連携していくのか。
- △ 銅器や漆器等の販売額については減少傾向にあり、海外販路に手を伸ばすことで販売額の減少を何とか食い止めたいという思いがある。事業の実施にあたっては各

組合に事業への参画企業の募集を依頼している。6年度においても新規の企業に挑戦していただけるような形で募集していきたい。

- 現地調査を進めていることから、その結果に基づいて、効果が出るように進めていただきたい。(要望)

【議案第1号のうち、高岡おとぎの森公園魅力向上事業費について】

- 多面的機能の維持を図りながら駐車場を整備することだが、詳細は。また、駐車場は何台分増加するのか。
- △ にぎわい広場について、これまでイベント等で活用してきたが、その機能を維持しつつ駐車も可能なスペースとして再整備するものである。駐車台数は100台程度を想定している。

【議案第1号のうち、市営住宅住戸改善事業費について】

- 令和5年度よりも増額となっている理由は。
- △ 本事業では、公営住宅長寿命化計画に基づいて外壁の改修を行う。5年度は、中保E棟、東五位C棟、国吉B棟・D棟にて実施しており、6年度は、守山D棟、東五位B棟・C棟で実施する。棟数は減るものの施工面積が大幅に増え、また、物価高騰の影響もあって増額となっている。

【議案第8号について】

- 他会計出資金について、令和5年度よりも増額となっている理由は。
- △ 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の対象事業である、五位地区の水道施設整備事業費が増額となることから、一般会計からの繰入金を増額している。
- 先般の震災の影響によって増額したわけではないということか。
- △ 震災については補正予算等で対応することになると考えている。

【議案第41号のうち、がんばる商店街づくり推進事業費について】

- 減額する理由は。また、プレミアム付商品券についての進捗状況は。
- △ 令和5年度に限り県からのプレミアム付商品券の補助金が拡充された。4年度よりもプレミアム付商品券の発行枚数を多くしたものの、事務費等を県補助で対応し市の補助金に余剰が生じたため、実績に基づき減額するものである。6年度に向けては4団体と調整を行っているところであるが、そのうち3団体からは実施する方向である旨の連絡をいただいている。
- 概ね前向きに進められていると理解した。本事業は地域経済の活性化の意味合いが強かったと思う。先般の震災で影響を受けた地域経済の復旧復興、活性化という観点から進めていただきたい。また、実施時期についても、しっかりとヒアリングをした上で判断して進めていただきたい。(要望)

【議案第41号のうち、液状化対策事業費について】

- 液状化の調査結果について、どのように活用するのか。

△ このたびの調査は基礎調査である。まずは液状化被害を把握し、それらを踏まえどのような対策が可能なのかを検討していく。なるべく早く成果を出したいが、途中段階であっても、公表できる内容については市民に示していきたい。

〔自由討議〕

。本会議の一般質問における発言について

委員A 本会議の一般質問で、海外販路開拓支援事業について、先送りしてはとの発言があった。その発言者と同じ会派に所属している委員に伺うが、会派内で合意形成は図られていたのか。

委員B 本事業を先送りして震災復興に関する予算を計上した方がよいのではとの発言があったが、通告には含まれていない内容であって、市当局に質すというよりは個人的な意見として発言したものと理解している。特段、会派内で合意形成は図っておらず、市当局に対しても予算案に関連する要望等はしていない。

委員A 確かに、本委員会での質疑を聞いていると、委員はどちらかと言えば本事業を前向きに捉えていると感じる。追加で確認したいのだが、予算案の変更を求めるのであれば具体的に示していただきたいが、いかがか。また、発言の内容等について、他の会派への説明はしているのか。

委員B 議案の審査は本委員会等に付託されるものと思っており、本会議の一般質問の段階では予算案の変更等は求めている。そもそも会派内で合意形成を図っていないため、他の会派への説明もしていない。私自身、会派を代表して本委員会に出席して質疑をしており、答弁いただいた内容をもって判断している。

委員A 予算案についての賛否はどうするつもりなのか。

委員B 賛否については会派内で概ねの合意形成は図っているため、特に問題はないと考えている。

委員A 議場あるいは委員会での発言は大変重く、責任が伴うと考える。だからこそ市当局も発言を重く受けとめて対応いただいている。議会では自由に考え方を述べることができるが、同時に会派制で運営をしている。発言者が今後どのように責任を果たしていくのかが大切である。

## 2 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

- (1) 令和5年度「高岡イノベーション推進事業補助金」採択事業者及び「高岡市チャレンジ新商品」認定事業者について
- (2) 第4次高岡市食育推進計画の策定について

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【第4次高岡市食育推進計画の策定について】

- パブリックコメントで寄せられた意見のうち、環境にやさしい農業について、詳細は。
- △ 化学肥料の低減や堆肥の活用の推進のほか、小学生等の収穫体験の際における食の安全や農薬に対する学習の機会について、計画に追記したところである。
- パブリックコメントで寄せられた意見も参考にしながら、無農薬食品についても取り組んでいただきたい。（要望）

[都市創造部]

- 。令和5年度高岡市道路除雪の報告について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

3 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第104条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

4 その他

- 。次回の本委員会の開催について

令和6年4月19日（金）午後1時に開催することが報告された。

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〈 当局からの報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（２８名）

|               |         |                   |           |
|---------------|---------|-------------------|-----------|
| 産業振興部長        | 式 庄 寿 人 | 都市創造部長            | 赤 阪 忠 良   |
| 産業振興部次長       | 堺 啓 央   | 都市創造部次長           | 梶 本 敏 規   |
| 産業振興部次長       | 長 久 洋 樹 | 都市創造部次長           | 西 條 正 輝   |
| 産業振興部参事（兼務）   | 西 條 正 輝 | 都市創造部次長<br>都市計画課長 | 山 森 久 史   |
| 産業企画課長        | 今 方 順 哉 | 景観みどり課長           | 江 尻 典 世   |
| 商業雇用課長        | 中 川 正 人 | 道路整備課長            | 中 出 裕 嗣   |
| 観光交流課長        | 森 川 朋 子 | 土木維持課長            | 割 田 一 郎   |
| 農業水産課長        | 永 井 正 之 | 建築政策課長            | 氷 見 和 人   |
| 農地林務課長        | 横 山 太 一 | 営繕課長              | 井 林 哲 雄   |
| みなと振興課長       | 車 忠 宏   | 福岡駅前土地区画整理推進室長    | 橘 茂 徳     |
| 地域振興交流課長      | 有 栖 友 広 |                   |           |
|               |         | 上下水道事業管理者         | 黒 木 克 昌   |
| 農業委員会事務局長（併任） | 堺 啓 央   | 上下水道局次長           | 五 十 里 康 夫 |
|               |         | 上下水道局参事           | 川 渕 利 直   |
|               |         | 総務課長              | 亀 岡 勝 彦   |
|               |         | 営業課長              | 熊 本 敬 二   |
|               |         | 水道工務課長            | 片 岡 利 行   |
|               |         | 下水道工務課長           | 寺 井 義 則   |
|               |         | 施設維持課長            | 高 林 隆     |